



東白川小だより

令和4年11月16日(水) №9

校長 桂川 辰也



感謝

朝夕の冷え込みが厳しくなり、秋の終わりが近づいてきました。秋は、「〇〇の秋」と言われ、何かに打ち込んだり、積み重ねてきたものの成果を味わったりするのに最適な季節です。

小学校では、この秋は行事が目白押しでした。5年生がお米、1、2年生がサツマイモを収穫し、調理実習や焼きイモ体験をしみんなで学習の成果を味わいました。4年生は桑名市立城東小学校としめ縄づくり体験で交流しました。3年生は大明神のトマト農家や選果場を訪問し、苦労ややりがいなど生の声を聞かせていただきました。また、6年生の修学旅行や1～5年生の社会見学では、それぞれ本物を味わう体験や楽しい思い出づくりができました。



村でもたくさんのイベントが催されましたが、ここにも子ども達の活躍の場がたくさんありました。郷土歌舞伎、稚児、太鼓、吹奏楽など、学校生活とは一味違う子ども達を見せてもらいました。「カッコいい!」一番の感想です。また、村の大人の方々が生き生きと活動してみえる姿も見ていただきました。親子で舞台に立っている人もあり、とても素敵だと思いました。「**将来あんな大人になりたい**」と胸を膨らませた子どもたちがたくさんいたことと思います。子ども会卓球大会でも、上級生を相手に全力で勝とうとする下級生、負けて悔し涙を浮かべる子、またそういった子を励まし再び頑張らせる上級生など、素敵な姿がたくさんありました。子どもたちにとっては、こういった体験から得るものは一生の宝物となる可能性が本当に高いです。こういったイベントを企画・運営するのは本当に大変です。まして、コロナ禍での開催となれば尚更です。関係者の皆様、本当にお疲れ様でした。心から感謝すると同時に、こういった人こそ村の宝物であると改めて勉強させていただきました。

PTA 環境整備作業ありがとうございました。「やりかけで時間切れとなり悔しい」と、午後からも中庭で作業をしてくださった方がありました。その後も「あれ?ここはいつの間にきれいになった?」私たちの知らない間に作業をしてくださった方までありました。本当にありがとうございます。